《Q》町内会加入者の減少を増加に反転させる政策を
《A》持続可能性と世代循環に向けた取組を支援



野崎　和也 議員（新政会）

若い世代が地域に関わりたくなる町内会へ

質問　仕事や子育てを抱える世代が地域活動に参加できる仕組みを後押ししては。

市長　ライフスタイルに応じた参加方法の取入れが必要。仕組みの事例があれば、町内会や自治会への情報提供など必要な支援を行う。

質問　地域別の人口構成を踏まえ、次に誰が地域を担うのかという世代交代を捉えた取組が必要では。

市長　町内会や自治会の意向を尊重し、効果的な支援を研究する。

質問　防災を入口に若い世代が地域と関わる仕組みとして、消防団と協力したイベントを後押ししては。



町内会自治会加入促進事業の活動写真展示

市長　地域の皆様が主体となるイベントが行われる際、必要に応じて消防団を始めとする各関係機関と連携を図り支援する。

質問　地域との接点等を増やし、継続的な関わりから次の担い手を育て、町内会加入者の減少を増加へ反転させる政策の位置づけを。

市長　地域に関わる人を増やす取組を進めるとともに、町内会や自治会による地域コミュニティの持続可能性と世代循環の実現に向けた取組を支援する。

ひとり親家庭への切れ目のない支援について

質問　支援ニーズをどう把握し、施策に生かしているか。

市長　ひとり親家庭が市役所に来庁する機会を捉えて直接状況を伺っている。多様な施策を通じて、ひとり親家庭の支援及び自立促進を図っている。

《Q》障害者就労支援事業での就職件数と職場定着率は
《A》就職 18 件、新規就職者の定着率 94%



菅　勇真 議員（双葉会）

市民の声について

質問　羽村市障害者就労支援センター「エール」で実施している障害者就労支援事業の相談件数、就職件数、職場定着率は。また、障害者を雇用する市内事業者への伴走支援の具体策は。

市長　令和7年度は相談が2050件、就職件数が18件、新規就職者の職場定着率は94％であった。

　事業者には、本人の職務に対する希望や得意・苦手なこと、体調に関する情報などを丁寧に共有している。相談があった際は本人の適性や障害の特性に配慮した職場環境の整備について一緒に考え、連携・協力をしている。



羽村市の障害者就労支援センター「エール」

羽村市の教育について

質問　不登校の子供を抱え、孤立や不安を感じる保護者への支援体制として、夏季休業期間を活用した個別相談や「親の会」の開催など、切れ目ない保護者支援の取組を伺う。

教育長　夏季休業中を含む年間を通して教育相談室を開設しており、児童・生徒や保護者の不安や悩みに寄り添う相談業務を実施している。

　また、市内には子供の不登校で悩む保護者が交流・情報交換を行う民間団体の「親の会」がある。この団体との定期的な懇談の機会を設けているほか、同会が夏季に主催する「進路学習会」を後援している。この学習会は、我が子の進路に関する多様な情報を集める機会となっている。

《Q》大雨が降った時のシミュレーション結果は？
《A》どこが、どの深さで浸水するかの図を示した



鈴木　拓也 議員（日本共産党）

羽村市に大雨が降ったら、どうなる予測なのか？　どう対策をとるのか？

質問　市内に大雨が降った時にどのようなことが起こるか、シミュレーションをしたとのことだが、結果は。

市長　1時間に153㎜の雨が降った際の、地形や雨水管の状況などを基にしたシミュレーションを行い、結果を市公式サイトに「内水浸水想定区域図」として公表した。どの地域にどの程度の深さで浸水が起こる可能性があるかを示している。

質問　雨水管を太いものに交換する工事は、令和13年度から行うとしている。もっと早期に着手できないか。



内水浸水想定区域図(一部)

市長　他の事業との調整を図りながら、段階的に整備を進める考え。雨水管理総合計画に示すスケジュールに基づき、着実に事業を推進していく。

保護者説明会で、学校再編への理解はすすんだのか？

質問　教育委員会が7月に実施した「学校再編に関する保護者説明会」では、「通学・通学路」への意見が最多であった。どのような意見があり、どう答えたのか。

教育長　「通学時の安全確保を徹底してもらいたい」などの意見が出された。具体的な対策は、課題を整理した上で、年度内に案を提示する考えを回答した。

質問　参加者は納得した様子だったか。

教育長　一定の御理解をいただけたと認識している。

■その他の質問
都市計画税は取りすぎており、令和9年度から減税すべき！

《Q》「まなびポケット」を双方向のツールにしては
《A》検討すべき課題の一つだと認識している



馳平　耕三 議員（令和かがやき）

「まなびポケット」の現在の利用状況や今後の展開について問う

市内小・中学校は保護者との連絡用ツールとして、スマートフォンを使ったアプリケーション「まなびポケット」を導入している。

質問　現状では何に利用しているか。

教育長　保護者からの出欠連絡、学校からの各種お知らせの一斉配信等に活用。

質問　長期休暇中の活用は。

教育長　同様に学校からのお知らせ等を一斉配信している学校もあるが、長期欠席や気になる様子が見られる児童・生徒へは、個別に連絡を取っており、「まなびポケット」は使用していない。



「まなびポケット」ログイン画面

質問　個別学習や子供同士の交流の場としての利用は。

教育長　それらは一人一台の端末に備わった機能を活用しているため、個別学習や児童・生徒同士の交流には使用していない。

質問　管理運用はどこが行い、セキュリティ対策はどうなっているか。

教育長　教育委員会が策定した「羽村市立学校情報セキュリティポリシー」に即して、万全な対策を講じている。

質問　保護者と学校や教育委員会との双方向のツールとして使えないか。

教育長　検討すべき課題の一つだと認識している。

■その他の質問
羽村市公共施設再配置構想における建築物総量30％程度の削減目標の妥当性と実現性について／「新しい現実」を直視することから歴史的転換期を生き抜く戦略を

《Q》令和７年度までの事業の進捗率は
《A》総事業費 436 億円に対する執行率は約３８％

門間　淑子 議員（市民ネットワーク）



羽村駅西口土地区画整理事業は人口減少時代に見合わない

質問　事業の羽村市費は220億4671万6000円である。令和7年度までの市費の支出額と割合は。

市長　平成15年度から令和7年度までに執行した羽村市負担金の合計額は101億7500万円であり、執行率は約46％である。

質問　令和7年度までの事業の進捗率は。

市長　総事業費436億円に対する執行率は約38％、移転対象建物970棟に対する建物等移転率は約24％である。



工事が進む羽村駅西口周辺地区

ジェンダー平等でいきいきとした羽村市に

質問　第6次男女共同参画基本計画策定に向けた具体的なスケジュールは。

市長　庁内の検討と、「男女共同参画推進会議」で審議を行っている段階である。年内を目途に推進会議から提言をいただき、計画案を作成し、意見公募手続きを経て、年度内に策定する予定。

質問　アンコンシャス・バイアス（無意識の偏見）による性別役割分担の解消はジェンダー平等への重要課題である。更に学習機会を増やしては。

市長　これまでも男女共同参画フォーラムや広報はむら、「パパママ講座」などを通じ、意識啓発や学習機会の提供に取り組んできた。開催内容の充実や周知方法を工夫して、より多くの方が参加できるよう取り組む。

《Q》はむらんの運賃を 100 円に維持している理由は
《A》誰もが利用しやすいよう改定を行っていない

高田　和登 議員（つながる力）



コミュニティバス「はむらん」について

質問　土日・祝日・年末年始の運行取り止めの経緯は。

市長　令和7年7月と9月に、運行事業者から文書による申出があった。

質問　市民への周知は12月であった。もっと早くできなかったのか。

市長　9月の申出以降も粘り強く交渉を重ねた上で、運行体制の変更が必要不可欠との判断に至ったため。

質問　多摩地域30市町村でのコミュニティバス導入状況と乗車運賃の平均は。

市長　導入は本市を含め26市町村。「定額運賃」を採用している市町村の運賃の平均は約170円。「対距離運賃」では100円から460円である。

質問　平成17年の運行開始以来、乗車運賃を100円に維持している理由は。

市長　誰もが利用しやすいよう改定を行っていない。運賃設定は受益者負担の公平性等から総合的に検討する。

質問　無料乗車券をもっと多く配布すべきでは。

市長　今後、利用促進を図る中で必要に応じて検討する。

敬老のつどいについて

質問　令和8年度の申込者数は。

市長　1060人である。

質問　令和7年度の開催費用は。

市長　360万4971円である。

質問　対象者を65歳以上とし、年齢の高い方から当選者を決める方式を提案するがどうか。

市長　必要に応じて提案の方式も含め調査・研究する。



4月から土日・祝日・年末年始が運行取り止めになった「はむらん」

《Q》災害時に備えたペット用品の備蓄は
《A》ペット用防災用品の備蓄は行っていない



林田　敦子 議員（令和かがやき）

ペット受入れ訓練の成果を踏まえた避難所におけるペットの受入れについて

質問　災害時に備え、ペット用品を備蓄しているか。

市長　ペットの種類や大きさは様々であり、個々に対応することは難しいことからペットの防災用品の備蓄は行っていない。

質問　災害時にペットと一緒に避難所まで避難する際のルールや備蓄など、飼い主が平時から備えておくべきことの周知方法は。

市長　ケージやキャリーバッグ、ペットフードなどの備蓄に加え、日頃からのしつけなどの災害対策を、広報はむらや市公式サイトに掲載している。また、狂犬病予防接種の通知を送付する際にチラシを同封している。パンフレットやリーフレットの作成、防災訓練の啓発活動などにも取り組む。

羽村市動物公園における猛暑・酷暑対策と動物の健康管理について

質問　動物を守る対策は。

市長　獣舎に設置した空調機を使用するほか、スポットクーラーや扇風機、スプリンクラー、ミスト装置による放水、遮光シートによる日陰の確保などを行っている。また、日中の高温下に動物をさらさないよう、一時的に展示を見合わせるなどの対策を講じている。

質問　動物が体調不良になった際の獣医師との連携は。

市長　獣医師が常駐しており、迅速に対応している。



羽村市動物公園

《Q》犯罪被害者等支援条例を制定しては
《A》先行自治体の状況を確認し、調査・研究する



池澤　敦 議員（新政会）

犯罪被害者等への途切れない支援について

質問　令和5年第1回定例会から今日まで、市へ寄せられた犯罪被害者等からの相談は何件あったか。

市長　犯罪被害者等への支援を要旨とする相談は寄せられてない。

質問　総合的対応窓口の機能向上や、庁内の関係部署が関係機関との連携を深めることにより、犯罪被害者等に必要な支援を途切れることなく提供できる体制を、市はどのように考えているか。

市長　犯罪等の被害にあわれた方が、孤立することなく、被害の回復や軽減、生活の再建につながっていくことが大切であると考えており、被害にあわれた方を支援していく体制を整えている。

質問　国や東京都の動向及び他自治体の取組を踏まえ、羽村市においても、犯罪被害者等支援を目的とした条例、いわゆる特化条例を制定する考えはあるか。

市長　市としては、東京都の条例に基づき、東京都や関係機関等と役割を分担し、犯罪等の被害にあわれた方の支援に取り組んでいくことが肝要であると考えている。条例の必要性については、先行して条例の制定に取り組んでいる自治体の状況なども確認しつつ、国や東京都との役割分担の明確化なども含め、調査・研究していく。



犯罪被害者等のための東京都総合相談窓口「公益社団法人 被害者支援都民センター」（千代田区）

《Q》進捗状況から都市計画変更は避けられないのでは
《A》現時点で事業計画変更は検討していない



山崎　陽一 議員（世論）

区画整理撤回要求第77弾

質問　羽村駅西口土地区画整理事業は、残り11年間で鎌倉街道福生側の整備完了が可能か。

市長　２０３６年度で事業完了。６か年実施計画事業範囲の整備達成が重要で、現時点での答えは難しい。

質問　仮に鎌倉街道福生側で事業終了するなら仮換地先は区域で確保できるか。

市長　鎌倉街道から福生側の範囲外の仮換地先もある。

質問　都市計画道路３・４・12号線と駅前交通広場・道路用地費への東京都交付金の総額と使途は。

市長　41億３２００万円。都市計画道路内や計画線に接する建築物以外の移転対象建築物等の補償費に充当。



羽村大橋からJR青梅線踏切までの都道予定地。完了時期は不明

質問　防災上課題が多いと言うが、「地震に関する地域危険度測定調査」で羽東、川崎地区は５段階で１か２。安全地域ではないか。

市長　事業の施行で地区をより災害に強く、持続可能なまちにすることが重要。

質問　計画より事業市費が富士見平区画整理は３倍、小作台区画整理は15・43倍と増加したが。

市長　好景気の物価高騰等が主な要因と捉えている。

質問　現在、移転率24％で２２８棟、市費負担率47％で１０３億円。今後は。

市長　現時点で市費負担総額の試算は困難。

質問　50ha以下の都市計画変更は自治体権限。２０３６年度完了するなら進捗状況から事業計画変更は避けられないと思うが。

市長　現時点で事業計画変更は検討していない。

議会からのお知らせ

■陳情書の提出締切日が前倒しになりました

羽村市議会では「羽村市議会における請願及び陳情書等の取扱い基準」を定めました。

これに伴い、各定例会への陳情書の提出締切日を「定例会（３月・６月・９月・12月）の一般質問の受付開始日の前日まで」（定例会初日の概ね20日前）に変更しました。提出締切日については、「ぎかいのトビラ」最終ページの次回定例会の予定、または市公式サイトをご確認ください。

基準の内容はこちら

■令和８年熊本地震に伴う災害義援金を送金しました

８月６日、羽村市議会議員全員で構成する「羽村市議会議員会」から、熊本県義援金口座に10万円を送金しました。被災された方々の一日も早い復興をお祈りしております。

■議員研修を実施しました

８月26日、「法に基づく市議会の権能～立法趣旨に沿った議会運営の必要性～」と題して令和８年度議員研修会を実施しました。

講師には、早稲田大学デモクラシー創造研究所招聘研究員である清水克士氏をお招きし、市議会の役割や議会改革等についてご講演いただきました。



議会活動報告

市議会議員は、定例会や臨時会のほかにも、各々が所属する委員会や一部事務組合等に関係する会議や視察、研修などにも出席しています。

令和８年８月１日～令和８年１０月３１日の主な活動

8月

3日　■東京都市議会議長会定例総会
4日　■令和８年度西多摩地域広域行政圏協議会審議会
6日　■第２回多摩都市モノレール建設促進及び公共交通対策特別委員会
7日　■監査委員協議会
20日　■多摩都市モノレール建設促進及び公共交通対策特別委員会行政視察（瑞穂町）
24日　■第11回議会運営委員会
■令和８年度第13回一般社団法人大多摩観光連盟通常総会
26日　■令和８年度議員研修会（法に基づく市議会の権能～立法趣旨に沿った議会運営の必要性～）

9月

1日　■第３回羽村市議会定例会（初日）
2日　■第３回羽村市議会定例会（２日目）
3日　■第３回羽村市議会定例会（３日目）
8日　■一般会計等予算審査特別委員会（補正予算）
9日　■第３回羽村市議会定例会（４日目）
10日　■第３回環境まちづくり委員会
■第３回総務委員会
11日　■第５回文教厚生委員会
16日～18日
■令和７年度一般会計等決算審査特別委員会
24日　■第６回広報委員会
■第３回基地対策特別委員会
■監査委員協議会
25日　■第12回議会運営委員会
29日　■第３回羽村市議会定例会（最終日）
■第６回議員全員協議会

10月

7日　■第7回広報委員会
8日　■監査委員協議会
9日　■行政視察受入れ（奈良県大和郡山市）
13日　■第37回東京都道路整備事業推進大会
14日～15日
■総務委員会行政視察
（富山県射水市、石川県能美市）
■文教厚生委員会行政視察
（岐阜県山県市、岐阜県岐阜市）
15日～16日
■環境まちづくり委員会行政視察
（三重県多気郡多気町、三重県伊勢市）
20日　■全国市議会議長会基地協議会関東部会総会
■監査委員協議会
26日　■文教厚生委員会調査研究活動
（羽村私立保育園協議会との懇談会）
27日　■監査委員協議会

【発行】羽村市議会
【編集】広報委員会
〒205-8601 東京都羽村市緑ヶ丘5-2-1
☎ 042-555-1111(内線412-414) FAX 042-555-0889
羽村市公式サイト https://www.city.hamura.tokyo.jp/
羽村市議会 検索
「ぎかいのトビラ」は再生紙を使用しています。

議会を見よう！知ろう！

次の定例会は12月

〈議会を見る・知る４つの方法〉

1 持ち物不要！ 議場で傍聴

当日、議会事務局（市役所4階）にお越しください



2 家でもリアルタイム！ ケーブルテレビの生中継

多摩ケーブルネットワーク(TCN)で本会議を生中継しています



3 当日見れない時も！ インターネットの録画映像

会議の※3日後から見ることができます

※土日・祝日を除く。



4 公式記録なら！ 会議録で閲覧

市政情報コーナーや図書館では冊子で読めます



＼12月定例会の予定／

日	月	火	水	木	金	土
					11/20 議会運営	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	12/1 本会議	2 本会議	3 本会議	4	5
6	7	8 予算審査	9 本会議	10 常任委員会	11 常任委員会	12
13	14	15 議会運営	16	17	18 本会議	

12月定例会で審議予定の請願・陳情のメ切日は
11月13日(金)です。

■議会運営■
議会運営委員会のこと。
議事の進め方などを協議します。

■予算審査■
一般会計等予算審査特別委員会のこと。
補正予算の審査をします。

■常任委員会■
総務、環境まちづくり、文教厚生の３つの委員会があります。
付託された陳情や条例の審査などを行います。

※会議の予定は、変更となる場合があります。

編集後記

秋雨が続く中での９月定例会は、一般質問や決算審査に臨む議員の熱意に満ちた議会となりました。

膨大な資料と向き合う中で、市政を支える職員の尽力と議会の重責を再認識し、市民福祉の向上につながっているかを見極める決算審査の重要性を改めて痛感しました。厳しい財政状況の中でも市民生活に寄り添った目線で議会活動に努め、これまでの人生経験や日々の学びを審議に活かしながら臨みました。

これからも市民の皆様の力となれるよう議員一同全力を尽くしてまいります。

本号が、市民の皆様にとって市政への関心を深め、議場での傍聴へと足をお運びいただく機会となれば幸いです。（菅）

【広報委員会】
委員長　林田　敦子
副委員長　鈴木　拓也
　櫻沢　裕人
山崎　陽一　金子　ひとみ
　菅　勇真
　秋山　義徳
　冨松　崇
　中嶋　勝